

KTC

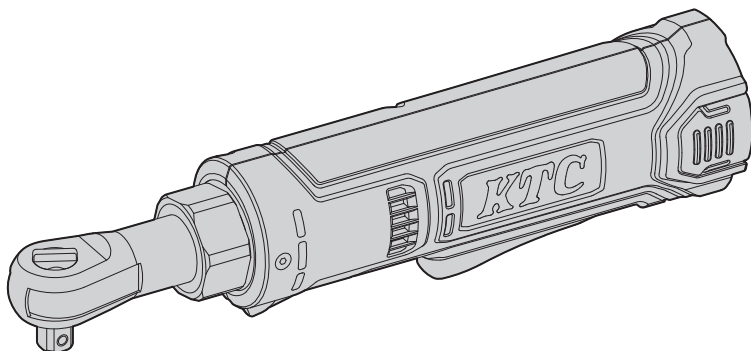
このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

9.5sq.

コードレス ラチェットレンチセット No.JTRE310

取扱説明書

業務用



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店までお申し出ください。

- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ読めるように、大切に保管してください。

発売元：京都機械工具株式会社

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店、もしくは、お客様窓口にご連絡ください。

お客様窓口

☎ (0774)46-4159
FAX (0774)46-4359

E-mail : support@kyototool.co.jp
電話受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00
(土・日・祝祭日及び当社休業日除く)

製品情報 ktc.jp

製造国：台湾

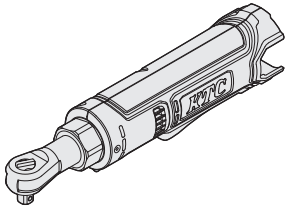
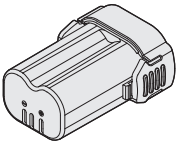
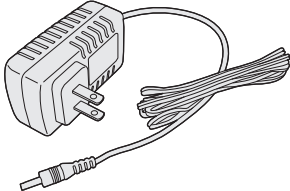
※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

T071059-0,21,02,KTC

もくじ

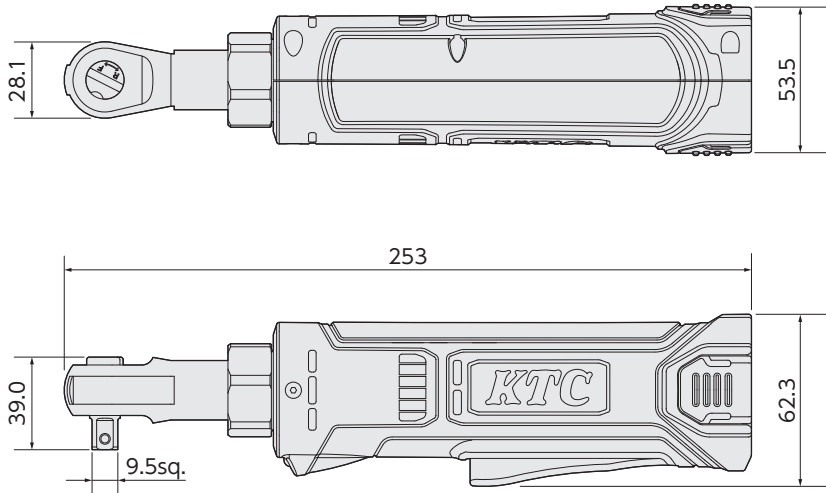
梱包内容	3
製品寸法	3
製品仕様	4
■ラチェットレンチ本体 No.JRE310	4
■バッテリーパック No.JBE07220	5
■充電器 No.JHE072	5
お使いになる前に	6
○バッテリーパックの充電について	6
安全シグナルについて	6
安全上のご注意	6
本体の使用方法	8
■バッテリーパックの脱着	9
○バッテリーパックの取り外し	9
○バッテリーパックの装着	9
○バッテリーパックの充電	10
○バッテリーインジケーターの見かた	11
■バッテリーパックについて	11
○長くお使いいただくために	11
○長時間ご使用にならないとき	11
○バッテリーパックの寿命	11
○バッテリーパックの廃棄	11
■ラチェットレンチの使用方法	12
○先端工具を取り付ける	12
○ラチェットレンチの操作	13
■保管方法とメンテナンス	14
○作業が終わったら	14
○メンテナンス	14
■製品の廃棄について	14
故障かな？と思ったら	15

梱包内容

本体	バッテリーパック
	
充電器	取扱説明書
	

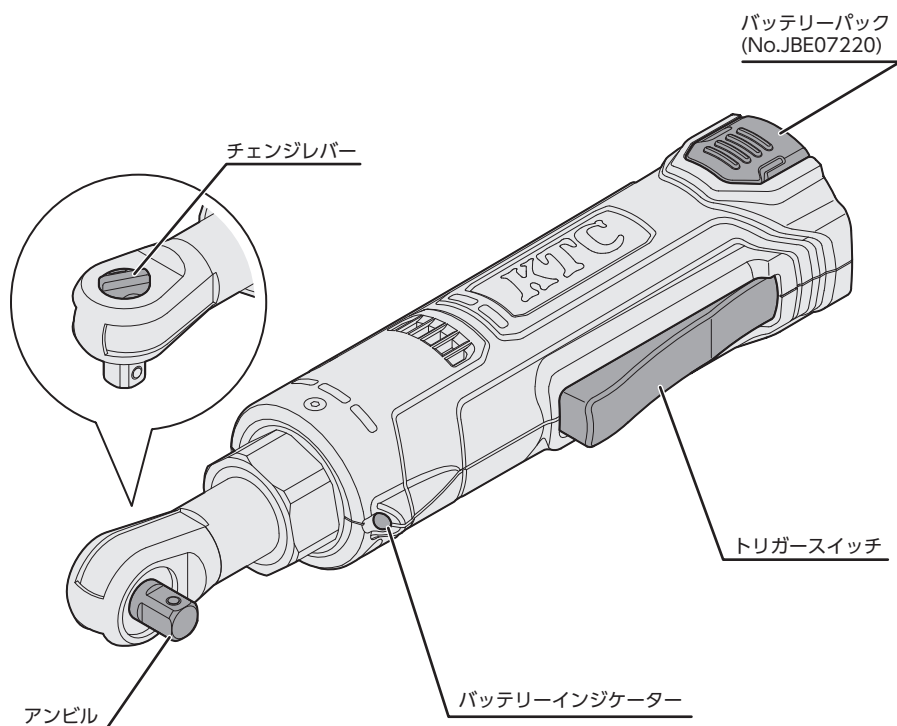
製品寸法

単位：mm



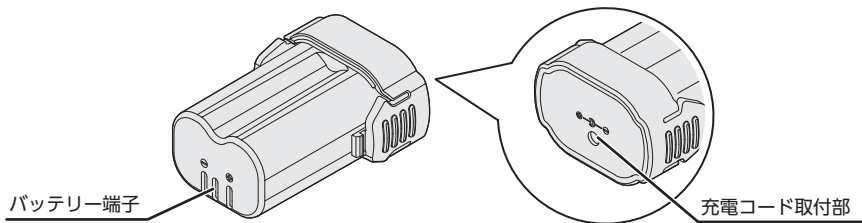
製品仕様

■ラチェットレンチ本体 No.JRE310



方 式	コードレス充電式電動ラチェットレンチ
入 力 電 圧	7.2V DC
最 大 ト ル ク	34N・m
無 負 荷 回 転 数	0~190 rpm
ド ラ イ ブ 角	9.5sq.
重 量	610 g (バッテリーを除く)

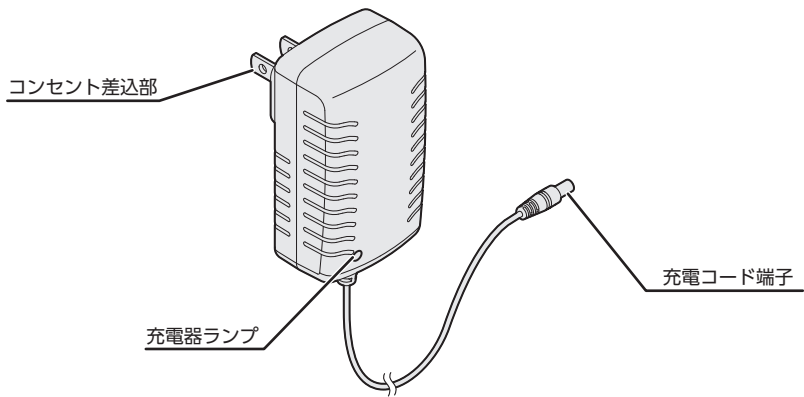
■バッテリーパック No.JBE07220



充 電 池	リチウムイオン電池
交渉電圧・容量	7.2V DC 2000mAh
充 電 時 間	140 分 ※
重 量	140 g
充 電 器	JHE072 (専用充電器)

※バッテリーパックの状態や充電されている環境により変化します。

■充電器 No.JHE072



入 力 電 圧	AC 100V～240V
入 力 周 波 数	単相交流 50/60Hz 共用
出 力 電 圧	7.2V DC
出 力 電 流	1A
操 作 温 度	0 ～ 40℃
保 管 温 度	-10 ～ 70℃

お使いになる前に

○バッテリーパックの充電について

ご購入時にバッテリーパックは充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。充電方法は本紙P.10をご覧ください。



- ・充電は 0 ～ 40℃の場所で行う。
- ・バッテリーパックの温度が 0℃以下、または充電器が置かれている環境と大きく温度差がある場合は、バッテリーパックを充電器が置かれている環境で放置（1 時間以上）してから充電する。
- ・バッテリーパックを 2 個以上連続で充電する場合は、充電器が冷めるまで（30 分以上）充電を休止させる。

安全シグナルについて

この取扱説明書では、誤った使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を、以下のように区分しています。



警告

誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

誤った使い方をすると、負傷または器物損傷の原因となる可能性があります。

安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークを付けています。

拡大損害が予想される事項	必ず行う	使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。
禁止行為	分解禁止	



警告

死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●専用バッテリーパック、充電器以外は使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●雨中や湿気の多い場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●可燃性ガスや液体のある場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●点検および保管時は、バッテリーパックを本体から取り外す。	ケガや器物破損の原因になる。
	●本体を持って移動するときは、トリガースイッチに指をかけない。	ケガや器物破損の原因になる。



警告

死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●暗い場所で作業を行わない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●保護めがねや保護マスク、耳栓などの保護具を使用する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●作業対象物を必ず固定する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●バッテリーパックの装着は、トリガースイッチから手を離した状態で行う。	ケガや器物破損の原因になる。
	●バッテリーパックを火中に投入しない。	破裂や有害物質発生の原因になる。



注意

ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●分解および改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●保守点検を必ず行う。	ケガや破損の原因になる。
	●本体に亀裂や破損が無いか確認する。	ケガや破損の原因になる。
	●小さい子供がふれない所に保管する。	ケガや破損の原因になる。
	●トリガースイッチで始動、停止のできない製品は使用を中止する。	ケガや破損の原因になる。
	●本体が熱くなったり、異常を感じたら使用を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●本体に落下などの強い衝撃を与えない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	●本体を投げない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	●直射日光の当たる場所や熱機器の近くなど、高温の場所には放置しない。	破損の原因になる。
	●水の中に落としたり、水の中に放置したりしない。	破損の原因になる。
	●取扱説明書に記載している以外の用途には、使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●化学薬品、海水、水分などを付着させたまま放置しない。	破損の原因になる。
	●本体に油やグリースが付いた状態で使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●本体、バッテリーパック、充電器に異物が混入しないようにする。	ケガや本体の破損、器物損傷のおそれがある。
	●修理は、必ず購入した販売店に依頼する。	ケガや器物損傷の原因になる。

本体の使用方法



死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●電池が液漏れしたり、異臭がしたりするときは使用を中止する。	発熱、破裂などのおそれがある。万が一、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
	●分解および改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●バッテリーパックに衝撃を加えない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●専用の充電器以外は使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●充電時間が極端に短くなったバッテリーパックは使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●充電中に布や可燃物で覆わない。	火災や器物損傷の原因になる。
	●バッテリーパックの端子間を短絡させない。	火災や器物損傷の原因になる。
	●電源コードに異常が見られる場合は、使用を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。



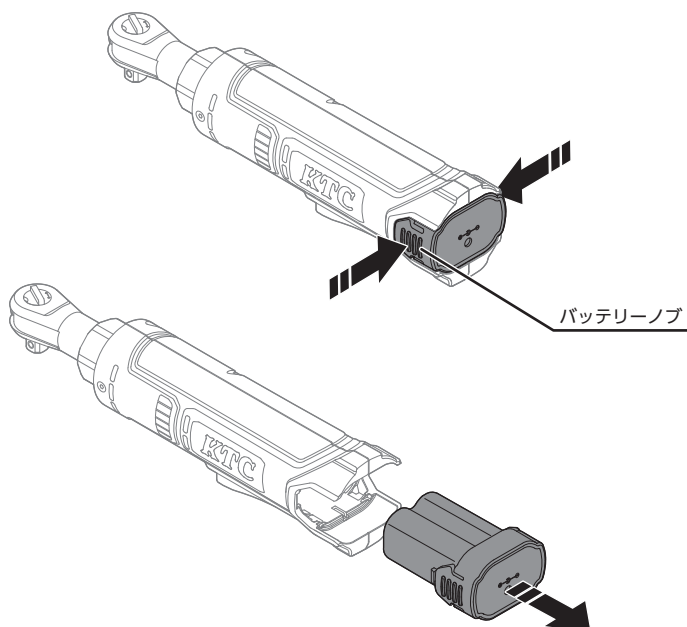
ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	● 充電器を使用しないときは、電源プラグを持ってコンセントから抜く。	ケガや破損の原因になる。
	● 充電器は、必ず100Vの電源を使用する。	ケガや破損の原因になる。
	● 電源コードは、定期的に点検する。	ケガや破損の原因になる。
	● 直流電源やエンジン発電機に充電器を接続しない。	ケガや破損の原因になる。
	● 温度が0℃未満、または40℃以上の環境で充電を行わない。	ケガや破損の原因になる。
	● 充電器の電源コードを持って運ばない。	破損の原因になる。
	● 電源コードを熱源に近づけない。	破損の原因になる。
	● バッテリーおよび本体の端子部にキズやホコリが付かないようにする。	破損の原因になる。

■バッテリーパックの脱着

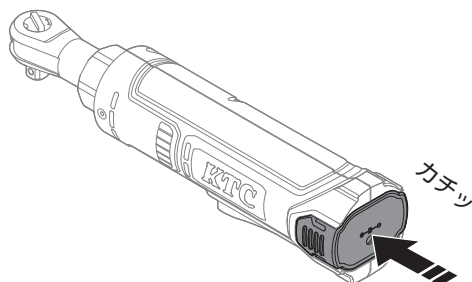
○バッテリーパックの取り外し

バッテリーノブを押しながら、バッテリーパックを本体後方に引き出す。



○バッテリーパックの装着

- ①バッテリーパックを本体に装着する。
- ②バッテリーノブのロックがかかったことを確認する。(カチッと音がする)



・トリガースイッチを引いた状態でバッテリーパックを装着しない。

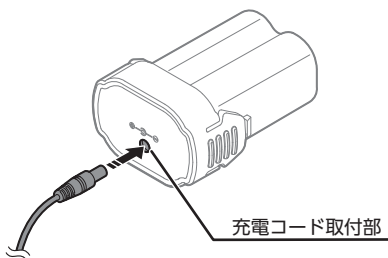


- ・本体の端子部に異物がないことを確認する。
- ・バッテリーパックがスムーズに装着できない場合は、無理に装着せず、購入した販売店に修理を依頼する。

■バッテリーパックの充電

○充電する

- ①バッテリーパックの充電コード取付部に、充電器のコードを差し込む。



- ②コンセントに充電器のプラグを差し込む。

充電器のLED が**赤色に点灯**します。

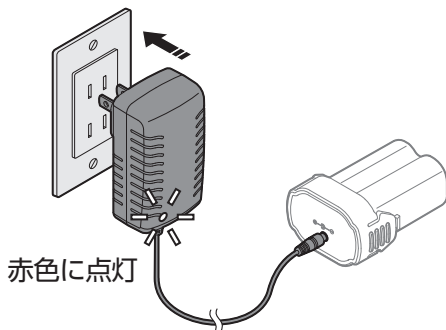


注意

プラグを差し込むと LED が**消灯**する場合、バッテリーが故障しています。

プラグを差し込むと LED が**緑色に点灯**する場合、バッテリーが満充電の状態、もしくはバッテリーが故障しています。

プラグを差し込むと LED が**緑色と赤色に点滅**する場合、バッテリーが故障しています。

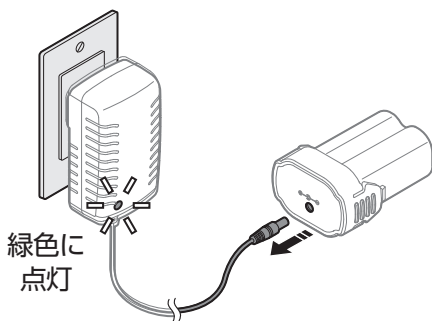


- ③充電器の LED が**緑色に点灯**し、充電が完了したら、充電コードをバッテリーパックから引き抜く。

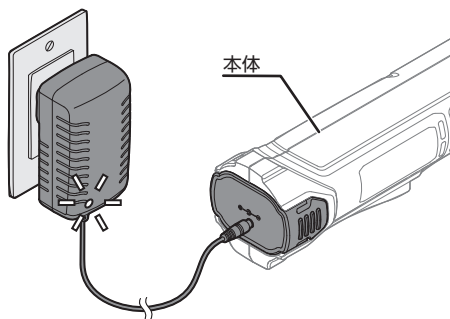


注意

通電中に LED が**消灯**する場合、充電器が故障しています。

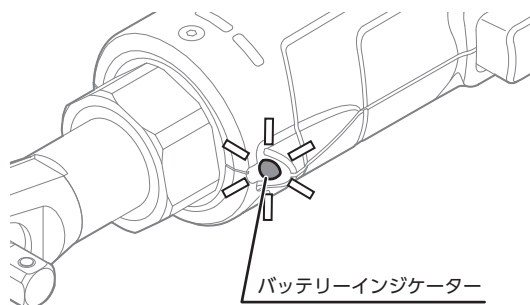


バッテリーパックを本体に装着した状態でも充電することができます。



○バッテリーインジケータの見かた

本体にあるバッテリーインジケータのLEDは、その時点のバッテリーの残量を表しています。本体を稼働させると、点灯または点滅します。



≪LED 点灯時≫

バッテリー残量が 31% 以上であることを示しています。

≪LED 点滅時≫

バッテリー残量が 30% 以下であることを示しています。

■バッテリーパックについて

○長くお使いいただくために

- ・バッテリーパックを使用しないときは、ホコリが付かない場所で保管してください。
- ・短絡させないように保管してください。

○長時間ご使用にならないとき

- ・バッテリーを 80% 程度充電した状態で、保管してください。保管中も 6 ヶ月に一回程度、バッテリーを充電してください。

○バッテリーパックの寿命

- ・満充電しても、ご購入後と比較して半分程度の作業しかできなくなったときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。バッテリーパックは、消耗品扱いとなります。

○バッテリーパックの廃棄

- ・本製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みのバッテリーパックは廃棄せず、リサイクル協力店までお持ちください。



- ・バッテリーパックを火中に投入しない。



- ・バッテリーパックを廃棄するときは、テープなどを使用し、短絡防止の措置をとる。

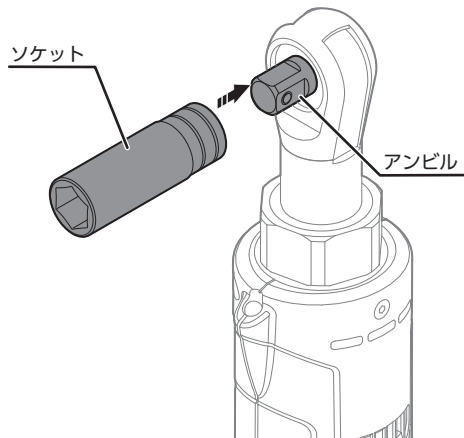
■ラチェットレンチの使用方法

 警告 けい こく 死亡や重傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●本体を確実に保持する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●回転する先端に顔や手を近づけない。	ケガの原因になる。
	●長時間の連続作業はしない。	本体の温度上昇で、ケガや器物破損の原因になる。
	●密閉された空間で使用しない。	発煙、発火、破裂のおそれがある。

 ちゅうい 注意 ケガや器物損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●先端工具は、取扱説明書に従い、確実に取り付け。	ケガや器物破損の原因になる。
	●軍手などの巻き込みのおそれがあるものは使用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●スカーフやネクタイなどの巻き込みのおそれがあるものは着用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●空回転させない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●規定トルクが指定されているものは、締め付け後、トルクレンチを使用する。	器物破損の原因になる。

○先端工具を取り付ける

使用目的にあった先端工具（ソケットなど）をアンビルに装着する。



- ・ 先端工具がしっかりと取り付けられていることを確認する。

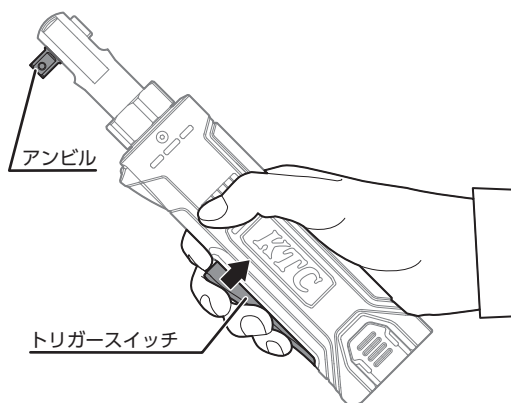
使用ソケット例：B3L-14

○ラチェットレンチの操作

トリガースイッチの操作

トリガースイッチを引くことでアンビルが回転します。

トリガースイッチの引き具合によって、アンビルの回転速度を調節できます。

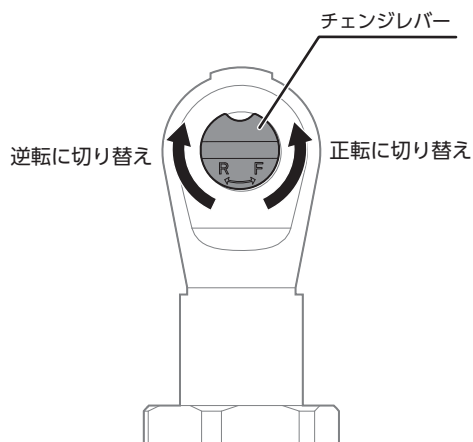


回転方法の切り替え（正転）

チェンジレバーを右に回転させることで、アンビルが正転方向に切り替わります。

回転方法の切り替え（逆転）

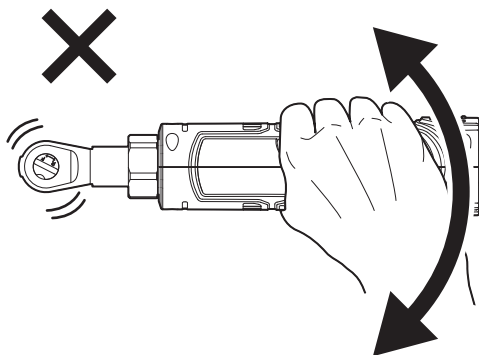
チェンジレバーを左に回転させることで、アンビルが逆転方向に切り替わります。



- ・チェンジレバーは本体のモーターが完全に停止してから操作する。



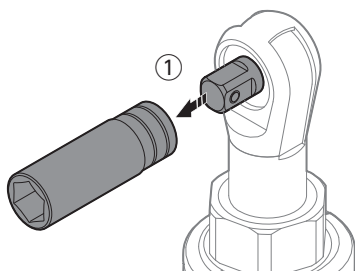
- ・製品が稼働状態のときに、ラチェットハンドルのように使用しない。チェンジレバーおよび回転切替機構が破損する恐れがあります



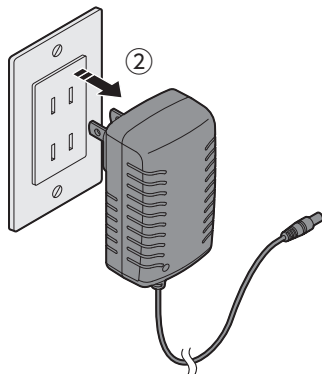
■保管方法とメンテナンス

○作業が終わったら

- ①本体から先端工具を取り外す。
- ②コンセントから充電器の電源プラグを抜く。



- ・ゴミ、ホコリの多い場所・溶剤などの引火物のある場所では保管しない。
- ・子供の手が届く場所・自動車の車内・直射日光が当たる場所・多湿な場所では保管しない。



○メンテナンス

《本体の汚れ》

本体およびバッテリー、充電器が汚れた場合は、バッテリーを外した状態で、柔らかい布などを使用し、ふき取る。

《各部の点検》

バッテリーを外した状態で、各部ねじの緩み、充電器の電源コードなどの亀裂、破損などの異常がないか、定期的に点検する。

●本体およびバッテリー、充電器のふき取り

- ・ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のもので本体をふかない。

●充電器、バッテリーパック

- ・充電器は、必ずコンセントから電源コードを抜いてメンテナンスを行う。
- ・端子部にゴミやホコリが付着している場合は、非金属製ブラシなどを使用して、端子部に無理な力がかからないように気を付けて取り除く。

■製品の廃棄について

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処の方法
動作が途中で停止する。	本体が高温になり、保護機能が働いている。	作業を中断し、本体の温度が下がってから使用する。
動かない。または動いてもすぐ止まる（バッテリーインジケーターが点滅している）。	バッテリーパックを充電していない。	充電する。
動かない。トリガースイッチを引いても操作できない。	バッテリーパックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	バッテリーパックが故障している。	新しいバッテリーパックに交換する。
満充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。	バッテリーパックの寿命。	新しいバッテリーパックに交換する。
	バッテリーパックの残量が少なくなった。	充電する。
	バッテリーパックを長期間放置していた。または購入したばかりである。	充電する。
	温度が低い場所（0℃以下）で保管したバッテリーパックを使用した。	バッテリーパックの温度が、0～40℃になってから再度充電する。

症 状

コンセントに電源コードの電源プラグを差し込んでも、LEDが赤色に点灯しない。

日常使用しているバッテリーパックが充電開始後 140分以上充電しても、充電完了（緑色点灯）にならない。

長期間使用していなかったバッテリーパックが充電開始後 3 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点灯）にならない。

各部の点検で、症状の改善が見られない場合は、

本体・バッテリーパック・充電器

をセットで、ご購入の販売店または KTC 取扱店に修理を依頼してください。

